



インフルエンザ対策の消毒液。今年の冬も大活躍しました。春はすぐそこ。今月いっぱいセンターの玄関に設置される予定です

3月に入りましたが、あじけんのある栃木県小山市は、まだまだ寒い日が続いています。「さむいねー。」「はい、そうですねー。」こんな会話が、実習生の皆さんと私どもスタッフとの間で、毎朝のように交わされています。でも、春はもうすぐそこまで来ています。このところ、教室でも、桜の花についての質問が数多く聞かれるようになってきました。実習生の皆さんも、日本の春が待ち遠しいようです。

あじけん日本語講師ファイル Vol.4: 山川 幸太郎



初めまして。私はあじけんでは実習生に日本語を教え始めて6年になります。この仕事を始めたときには、通常の日本語を教えることとは状況が違うので迷ってばかりいました。

しかし、たくさんの実習生を教えて経験を積むことで、現在では楽しく教えることができます。毎回、個性の違う実習生と接することができるので、自分の見聞を広げるのに役立っています。この仕事は続けていきたいですが、将来は海外で日本語を教えたいとも考えています。

Q1 これまで教えた中でいちばん印象に残っている実習生は？

あじけんでは「リーさんショック」として伝説化している、李さんという実習生です。日本語をなかなか覚えられないだけでなく、寮生活の中でも災難に見舞われるなど、踏んだり蹴つたりの日本語実習でしたが、決して笑顔を絶やさなかったのが印象的です

Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

実習生の皆さんが「生きた日本語」、技能実習の現場で通用する日本語を習得できるように心がけています。いくらテスト結果が良くても、話せない実習生をたくさん見てきたので、とにかくコミュニケーションが取れるように工夫しています。

今月の実習生



中国： 浙江省出身 余 云成

今月の実習生・余さんは、来日前の日本語学習期間がわずか1ヶ月間でした。そのため、来日直後は、日本語がほとんど通じない状態でした・・・。

ところが、人一倍努力家の余さんは、あじけんでの日本語講習を通して、会話力をメキメキと上達させ、授業に出ている講師陣からは「余さんは上手になってきたねー。すごいねー。」という声が増しに聞こえてくるようになりました。そして、講習が修了する頃には、日常生活に関する質問や指示にはスムーズに対応出来るまでに上達しました。

そんな余さんに、日本語上達の秘訣を聞いたところ、寮では、毎晩3時間、その日の学習内容の復習と、語彙集に出ている単語の暗記を欠かさずに行っていたそうです。また、中国から持ってきたMP3プレーヤーには、リスニング用の日本語音声教材が録音されていて、時間が空いた時には常にその教材を聞いて、耳ならしをしていたそうです。

あじけん流日本語授業

～学習者主体のコミュニケーション活動①：朝の会～

今月のあじけん流日本語授業は、毎朝 1 時間目の開始時に行なわれている通称「朝の会」の様子をご紹介します。

この朝の会は、輪番で担当の実習生が割り当てられており、その担当者の司会進行で進められます。担当者は、朝のあいさつから始まり、実習生の出欠確認・健康観察（検温）や、朝の会話練習の進行役まで、講師の手助けを借りずに独力で取り仕切ります。

このように、「朝の会」は、学習者主体の、より現実的な日本語でのコミュニケーション活動の場として、実践的な日本語力の向上に役立てられています。

①朝の会の準備中！



きょうは
さんがつ・・・

②朝のあいさつ



みなさん、
おはようございます。
きょう、あさのかいを
たんとうします。
よろしくおねがいし
ます。

③検温・健康観察も大切な朝の会のお仕事です。



さんじゅう・・・
ご・・・てん・・・

よさん、ねつはな
んどだった？

④会話練習の先生も行ないます！



けさ、あさごはん
ちゃんとたべた？

はい、たべました！